

山下金型グループ環境保全指針

1. 社内組織（役割り、責任者、権限）の明確化

環境組織の体系を整わせ、責任者の明確化

2. 環境方針の社内展開と社外公表

環境方針を周知徹底させ、定期的な取引先への展開

3. 法規制、取引先要求事項の確認

取引先要求に基づき、定期的に要求事項の確認

4. 成分調査（IMDS）の実施

非含有である証拠した成分データの入手と管理

5. 工程整備状況の記録管理

工程状況を定期的に確認し、記録を残す

【環境保全に関する基本的な考え方】

- ・環境保全の為に求められる人間像
- ・環境保全が育むべき能力
- ・環境保全教育の手法

【行動計画の策定】

- ・行動計画策定の背景
- ・環境教育の必要性
- ・環境教育をめぐる動き
- ・行動計画の位置付け

【環境保全教育等推進の為の施策】

- ・環境保全教育の必要性
- ・目指す将来の姿
- ・社風土を生かして
- ・会社、従業員
- ・事業者
- ・民間団体等
- ・行政
- ・主体相互の連携と協働取組の方向

【環境保全に向けた社内の取組み】

- ・人材の育成・活用
- ・プログラムの整備
- ・情報の提供
- ・環境保全学習機会の提供
- ・情報の積極的公表
- ・行政視点での取組み
- ・行動計画の推進・管理

当社が目指す将来の姿

地域未来は従業員皆で創り出すものとの認識のもと、環境の様子を心にとめ、環境悪化に気づき、自然や社会に対する心配りと心構えを持って環境保全維持に向けて自ら考え行動する人間育成に努める。